

きらきらひかる 中和っこ



74日間の二学期が終わる たくましく見えた子どもたちの顔

残暑まだ厳しい9月に始まった二学期も、本日無事に終わることができました。この74日間には修学旅行、宿泊体験学習、小中音楽会、すずがね祭り、校内マラソン大会など大きな行事がたくさんありました。それらをはじめ、各学年の活動、日々の授業の一つ一つを乗り越えて子どもたちは成長しました。

二学期を全力でがんばりぬいた自信から、終業式の子どもたちの顔はひとときわ、たくましく見えました。

前例を見ない台風・豪雨に悩まされた令和最初の秋でした。保護者の皆様には適切に対応をいただきました。中和小の教育活動についても多方面からご理解・ご協力賜りましたことに改めて感謝します。

お預かりいたしました大切なお子さんを一度ご家庭におかえしいたします。本日配付した「あゆみ」を参考にお子さんのよいところ、伸びたところをほめていただけたら幸いです。

またこの冬季休業は年末・新年の節目にあたり、ご家族で過ごす時間も持ちやすいことでしょう。大掃除をしたり、団欒の時間を過ごしたりしながら、楽しい家族での時間を過ごされますことを願います。皆様、どうぞ、よい年をお迎えください。



学習習慣形成は家庭学習の充実から ～10月実施の家庭学習アンケートの結果から～

10月にご家庭の協力をいただいて家庭学習時間調査を実施しました。結果は下表1、2のとおりです。この調査での学習時間には読書や学習塾等での学習時間も計上されています。また目標タイムは旭市教育委員会が目安として設定しているものです。

表1 学年別平均学習時間(単位 分)

平日・休日等	1年	2年	3年	4年	5年	6年
月～金	36	30	58	56	51	50
土曜日	26	16	28	49	32	29
日曜日	20	20	29	30	42	34
週平均	32	26	49	51	47	44
目標タイム	20		40		60	

表2 平日における学習時間の人数分布(単位 人)

時間(分)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
0	0	0	0	0	0	0
～20分未満	2	1	1	0	2	0
～40分未満	13	15	3	5	2	5
～60分未満	6	3	7	7	6	9
～80分未満	1	0	6	7	6	1
～100分未満	0	0	2	1	1	2
～120分未満	1	0	1	0	0	0
120分以上	0	0	0	1	0	0

※ 調査日 令和元年10月7日～13日

学年の発達段階もあり、慣れないと時間がかかることもあります。単に時間が多ければよいということではありません。しかしある程度の時間を集中して学習に取り組むことで学習内容は着実に定着します。また毎日継続して取り組むことで学習の仕方に工夫が生まれ、家庭学習の質が高まり、学力向上につながることも事実です。1年生から4年生の平均学習時間は目標タイムを超えています。

5・6年生の学習時間が3・4年生より短い点が気になりました。下校時刻が遅く家庭で自由に使うことのできる時間が少ないことや他の習い事等があることも要因として考えられます。しかし学習内容が多くなり難しくなるので、やはり学年×10分は確保してほしいと期待しています。

表2の平日の学習時間分布から人数が多く集まっている時間帯を見ると20～40分に1年生では13人、2年生は15人います。3～6年生では40～80分の間に3年生13人、4年生14人、5年生12人、6年生10人がいます。各学年、おおむね70%前後の児童に望ましい学習習慣が形成されてきています。一方、宿題が終わっていないなど較差が広がっていることも気になる点です。

表2では平日についてのみ示しましたが、土曜日の学習時間を0分とした児童が全校で35人・日曜日を0分とした児童が31人います。進級・進学を視野に入れて三学期も家庭学習の充実に努めて参ります。ご協力よろしくお願いたします。

子どもに忍びよるインターネット・トラブル

11月には大阪に住む小6 女児が SNS を通じて知り合った男性に栃木県まで連れ去られました。先週は新潟県の中学3年生がスマホ遠隔操作により通知票を改ざんし書類送検されています。物心つかないうちからスマホやタブレット端末等の情報機器があたりまえにある時代に育った子どもたち。通信機能を備えた最新のゲーム機も学習専用のタブレットも設定次第でインターネットにつながる事ができるようです。何より子どもたちが機器を使う技能を習得する速さには、目を見張るものがあります。それゆえ少し前の時代には想像できないような危険なトラブルに巻き込まれるリスクも高くなっています。

2018年度「インターネット利用におけるトラブル等事例集」(総務省)に典型的な事例が具体的に示されています。冬休み、自由に使える時間が多くなります。ゲーム機などに費やす時間も、つい多くなりがち。親子でトラブルとなる事例を学び、各家庭でのルールをしっかりと話し合っただけでなく、確立してください。



(総務省HPよりDL可)

典型的な事例を紹介します。冬休みにお子さんの実態に合わせておはなししてみてください。

1 日常に潜む危険 ⇒ 快楽と危険は隣り合わせ

- (1) スマホの過度な使用による日常生活への支障 ⇒ 学業や健康に大きな悪影響を与えます
- (2) メッセージアプリ内の会話による悪口や仲間はずれ ⇒ 舌足らずな表現から誤解も生じます

2 軽率な行動 ⇒ 思わぬ犯罪(加害・被害)に巻き込まれます

- (1) 安易なアップロード・ダウンロード ⇒ マンガを撮影し投稿すると著作権法違反になります
- (2) コミュニティサイトが悪意ある大人と接触するきっかけに ⇒ 11月の事件はまさにこれです

3 取引によるトラブル ⇒ 手持ちの現金が無くとも購入できるこわさ

- (1) フリマ・ネットショッピングで商品を購入してしまう ⇒ パスワード一つで取引が成立します
- (2) ゲームに夢中になって高額課金 ⇒ 景品や得点につられて課金し、思わぬ高額請求が。

4 悪意ある仕掛け・巧妙な罠 ⇒ 個人情報の流出・端末を乗っ取られ遠隔操作で犯罪使用も

- (1) 第三者に「ログインID・パスワード」を教えた ⇒ 端末やゲームを乗っ取られます
- (2) ワンクリック詐欺やウイルス感染 ⇒ 不当請求やPC内のファイルが暗号化されてしまいます

5 安易な情報提供 ⇒ なにげない行為に落とし穴

- (1) 旅行中の写真投稿や書き込みによる空き巣被害 ⇒ 悪意を持つ者はチャンスを見逃しません
- (2) SNS などへの投稿内容から個人が特定 ⇒ 写真投稿から付きまといをうけることもあります

つながったネットの先には悪意のあるひとがいるかもしれないこと。一つ間違えると自分に悪意はなくとも自分自身が事件やトラブルに巻き込まれることがあることを教えていきたいと考えます。

5月に世界保健機構(WHO)が昨年「国際疾病分類(ICD)」の最新版にゲーム障害を追加しました。また「子どもの視力低下」が深刻化していることも話題になっています。慶應大学研究グループの調査によると小学生の近視有病率は76.5%で、小学1年生の時点で6割を超えていることが報告されています。スマホやゲームが子ども達の健康や生活に及ぼす影響について今後も注意が必要です。

ちゅうわしょうダイアリー

中和小歳時記 ～12月②～ 書き初め練習会・大そうじ、がんばりました

12月18日(水) 書き初め練習会



匝瑳市で小学校の先生をしていただいた小関ルリ子先生にご指導をしていただきました。

12月19日(木) 大そうじ



すみずみまでピカピカになりました。1年生は高学年がしっかりとリードしてくれました。

令和元年12月28日(土)～令和2年1月5日(日)は学校に職員がおりません。よろしくお願いいたします。

中和小HPで学校の最新の情報をご覧ください。スマホからも閲覧OK!「旭市立中和小学校」で検索。